

沼田町

社会教育委員会だより

令和 8 年 3 月 5 日 発行
発行 沼田町社会教育委員会
(沼田町教育委員会)
住所 沼田町南1条4丁目6番5号
電話 0164-35-2132

沼田町のみなさん、こんにちは！ 私たちは沼田町社会教育委員です。
私たち社会教育委員の今年度の活動の一部を、時系列に沿ってご紹介いたします。
また今年度お世話になったみなさんに、この場をお借りしてお礼申し上げます。

【令和7年度の社会教育委員：任期令和8年3月31日まで】

委員長 岡田 和久／副委員長 臼井 真由美

委員 堀 直美／小山 健次郎／橋本 恵美／佐藤 貴宏／小本 拓巳

※寺木 佳奈委員は10月1日付で教育委員に任命されたため、任期途中で退任

■社会教育委員会■

第1回 5/1、第2回 6/18、第3回 10/8、第4回 12/1、第5回 2/19

【主な社会教育事業】

5月17日(土)～ 自然体験に関する各種事業

「そらち自然学校」に委託して行っているキャンプに関わる事業です。
「夏の宿泊キャンプ」は久々に町外に出て、石狩市で開催しました。

5月22日(木)～ いきいき大学(今年のテーマは「防災」)

町の総合防災訓練開催に合わせて、「防災」に関して学びました。日帰り旅行は今話題のエスコンフィールドへ。

10月15日(水)～ 沼田っ子の夢応援事業

今年も小学5年生と一緒に色々なことを学びました。講話の講師は松井学芸員、小本社会教育委員、David先生でした。

10月25日(土)～ 町民芸術祭

インフルエンザの影響もあり、当日欠席の方もいましたが、日頃の練習の成果を存分に発揮できた芸能発表会かと思います。作品展示会も昨年度以上の皆さんにご参加いただきました。

11月 9日(日) 町民交流フェスタ

町民会館での二度目の開催となり大盛況でした。町民講師による体験ブースの割合が増えました。

1月11日(日) 20歳を祝う会

沼田町から大きく羽ばたいていく約20名の若者の前途を盛大にお祝いしました。

※この他「家庭教育講座」、「21世紀の北空知を担う中・高校生の集い」、「生きがい講座」、「ぬまたっ子サポーター事業」、「生涯学習セミナー」等が沼田町社会教育事業となっています。

■社会教育委員より■

【岡田委員長】

昨年度に出席できなかった社会教育研究大会に参加しました。今年度は道南の今金町で例年と異なり1日の開催、早朝から日帰りで片道車で4時間半、帰りは時に吹雪、充実した研修でありながらも移動の辛さに参加を悔やんだものでした。しかしこの大会に限らず失敗したり、後悔の念に駆られたりするの、またそれを笑い話に昇華できるのも「挑戦の証」であると私は考えています。学びと成長の機会と前向きに捉えれば社会が萎縮とは逆の方向に向かうのではないかなと思います。

時に失敗を過度に責めたり嘲る人ほど実は何ら挑戦もしていないのではないかと勘繰ってしまいます。記者会見のやり取りや議員の振る舞いを見る限り。ただそういう方の多くは退場されてしまいましたね。

2年間お世話になりました。

【臼井副委員長】

町民交流フェスタ、毎年11月に開催され定着した事業になったと思います。会場がゆめっくるから町民会館に変わり、2年目となりました。町内の活動の紹介や講師を招いての普段できない体験ができます。ジョイントコンサートもあり、幅広い世代が数時間楽しめる空間です。開催にあたって準備から当日運営まで教育委員会の方にも大変お世話になっております。まず、どのような体験ブースがあったらよいか？講師の方も探さなくてはならないですし、気軽にできそうな参加型を考えるのも毎年頭を悩ませています。最近の話題や流行などを考え、見学だけではなく、「行動・体験」を通して記憶に残る感動の提供・拡散効果が期待できる内容をまた考えていきたいと思えます。



久々に社会教育委員による町内施設見学を行いました。また、当番を決めて、各事業の視察と報告を行いました。

【堀委員】

今年度一年を通して社会教育委員として事業に参加した事は学びになったと実感しています。委員会に事業見学の働きかけをしていただいたこともよい機会でした。私が見学した事業は生きがい講座の中のGRACEさんのカラオケ教室でしたが、町民の方が興味を持ち、いきいきと受講していたのが印象的でした。これからも出来る限り事業見学をしていき、多方面からリサーチしていこうと思います。長年社会教育委員をさせていただき、その意味を模索していますが、町民の方々に社会教育の重要性をより理解していただけるようにしたいです。

他市町との交流もこの二年間で積み重ねていく中で勉強になりましたし、取り組みがヒントになる場でもあります。他の市町の文化・歴史にも少し触れる事も出来ました。

いろいろ課題もありますが、事業を計画、実施していく中で、他の社会教育委員さんとの話し合いのやり取りさえも社会教育につながっていくだろうと思うこの頃です。

【小山委員】

二度目の社会教育委員として、町民フェスタを始め、色々な事業に参加、評価をさせていただきました。

沼田は大きな町ではないかもしれませんが、だからといって可能性を捨てず、暮らしに彩りや興味、刺激を与えるイベントや事業なども多く行なっています。委員の方々も創意工夫をしております。

町民の方からも、やってみたいこと、興味のあること、見てみたいことなど、要望をあげて、より魅力ある町にしていければと思います。

【橋本委員】

着任2年目、委員として、一町民として社会教育の場に参加して感じた歯痒さ。

様々な講座もあるのに、体験者数や年代が限られて見える。どんな経験も食わず嫌いでは勿体無い、自分も知らない得意分野があるかもしれないのに。知識欲は生涯においてとても重要な要素であり、知識欲の強い人達の地域は活発だが、欲の無い地域は影を潜めて衰退する。どうしたら一人でも多くの町民に、きっかけを、その先の可能性に繋げるチャレンジをしてもらえるか。社会教育の場においてそのための知恵を絞るのが私達委員の仕事であると考えます。

町民交流フェスタは町民会館
開催となって2年目！



【佐藤委員】

事業に参加したことで、地域や参加者とのつながりの大切さを強く感じました。実際に現場で関わることで、事業が単なるイベントではなく、多くの人の思いによって支えられていることを知りました。

自分もその一員として関わられたことを誇りに感じるとともに、今回の経験を今後の活動にも活かしていきたいと思います。

【小本委員】

社会教育は、学校教育の枠を超えて、地域社会や職場、文化施設などで人々が生涯にわたって学び、より良い社会や生活を築くための教育活動全般を指します。その役割は大きく分けて「人づくり」、「地域づくり」、「つながりづくり」の3つに大別されます。

今年度、沼田町では13の社会教育事業が実施され、その中で「自然体験事業」は小学生を対象に、沼田町の自然の中で、異学年と交流しながら不便さの中で生活能力やコミュニケーション能力を育成できるようにする事業です。私の子どもたちも参加しておりますが、家に居るときはゲームやYouTubeを見てばかりですが、元気に外でさまざまな体験をしている様子は本当に子どもらしい姿を見ることができます。

まだ、1度も参加したことがない小学生は、ぜひ一度体験してみてください。



いきいき大学生は
エスコンフィールドへ！

来年度もよろしく願いいたします。